

の のぼりと こ 伸びゆく登戸の子



登戸小ホームページ

「自分で選んで自分で決める 夏」

校長 棟居 謙

いよいよ子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。今年は梅雨の期間が長く、昨年のような猛暑にならない間に夏休みとなりました。体が暑さに慣れていません。熱中症には十分気をつけてお過ごしください。

39 日間の夏休みはどのようにお過ごしになるでしょうか。休みに入ってすぐの土日には地域のお祭りがあります。ぜひ、地域の方と交流する良い機会としてください。自由に過ごせる時間が長いということはその時間をマネジメントする力が試されます。まずは健康を維持するための、早寝・早起き・朝ごはんをおすすめします。

今回は、夏の課題についてお知らせいたします。本校では、今年度の夏休みの宿題について、従来の「全員一律のドリル・プリント類」を縮小し、子どもたちが自ら決めて取り組む「自由課題（自主学習）」を推奨・推進する方針をとることにいたしました。

1. 方針の背景とねらい

これからの時代を生きる子どもたちには、与えられた課題をこなすだけでなく、「自分に必要な学びを自分で見つけ、計画を立てて実行する力（主体的に学習に取り組む態度）」が求められています。これまでの全員一律の宿題を見直し、子どもたち一人ひとりの興味・関心や学習習熟度に合わせた「自由課題」に挑戦することで、以下のような力を育みたいと考えております。

- 「知りたい・やってみたい」を追究する探究心
- 自分の苦手な分野を自分で見極め、克服しようとする自立心
- 夏休みの時間を自分でコントロールする自己管理能力

2. 「自由課題」の具体例

「何をすればいいのかわからない」とお子様が迷われた場合は、ぜひ一緒に話し合ってみてください。面談で担任から保護者の方にお伝えした課題がありましたら参考にしてください。また、机に向かう勉強だけでなく、夏休みだからこそできる体験も立派な課題です。面談で担任から保護者の方にお伝えした内容が参考となります。

- 教科学習の深掘り・復習
 - ✓ 7月までの学習ドリルで間違えた問題の直し、苦手な漢字の練習
 - ✓ 読書（目標の冊数を決めて読む）、読書感想文
- 興味のあることの探究（自由研究・工作・表現）
 - ✓ 科学実験、昆虫や植物の観察、歴史・地域の調査
 - ✓ 絵画、工作、プログラミング、作曲、料理
- 体験・生活スキルの向上
 - ✓ 毎日のお手伝い（献立を考えて料理をする、毎日の掃除など）
 - ✓ スポーツの自主練習、体力づくり、新しい習い事への挑戦

※「自分で決めたテーマ」であれば、上記以外の取り組みでも大歓迎です。なお、夏以降のコンクール応募や作品展応募にかかわる課題については、まとめて学校 HP（学校からのお知らせ）に掲載しています。直接応募するものもありますので応募要領をよくお読みください。

3. 保護者の皆様へのお願いとサポートについて

この取り組みは、保護者の皆様に手取り足取り教えていただくためのものではありません。お子様が主役となり、試行錯誤することに意味があります。ご家庭では以下の2点についてサポートをお願いいたします。

- **「何をやるか」の決定を見守る** お子様が自分で「これをやってみる！」と決めるプロセスを大切にしてください（大人から見て簡単すぎるように思えることでも、まずは本人の意思を尊重してあげてください）。
- **結果ではなく、プロセス（過程）を褒める** 夏休みの終わりに「計画通りにできたか」「どんな発見があったか」を振り返り、最後まで取り組んだ姿勢をぜひたくさん褒めてあげてください。

【よくあるご質問（Q&A）】

Q. 本当にドリルなどの宿題は出ないのですか？

A. 最低限の基礎学力を維持するための課題（例：毎日の音読、計算・漢字の確認プリント数枚など）は学年に応じて出される場合がありますが、例年のような大量の一律ドリルはありません。その分の時間を自由課題に充てていただきます。

Q. 何も提出しなくてもいいのですか？

A. 学年だよりでお知らせした課題については、提出するようにしましょう。夏休み明けに、自分が取り組んだことがあれば、（ノート、作品、観察記録、チャレンジシートなど）是非見せてください。ご家庭によっては何にも代えがたい経験や取り組みがあるため課題に取り組む時間がない場合もあるかと思います。その場合はどうぞそちらを優先してください。

Q. 子どもが全く何もやろうとしない場合はどうすればいいですか？

A. 最初は「毎日 15 分、好きな本を読む」「1 日 1 回お皿洗いをする」といった、ハードルの低いことから構いません。